



Obihiru Aoi Gakuen Information

学校法人 帯広葵学園

# 学園通信

◆2017年(平成29年)9月20日発行 ◆Vol.2

故きを温ねて、新しきを知る 葵学園のあしあと

繰り返しになりますが、現在の「帯広葵学園」は、帯広市東5条南8丁目にある「大然寺(だいねんじ)」を起原として始まります。このお寺の住職、大高源照さんが檀家の要望に因るために幼稚園を考えたのが幼稚園をつくるきっかけでした。

もちろん、当時の帯広市内には幼稚園が足りませんでした。市は、直営の保育所はつくりませんが幼稚園はつくらなかつたのです。

そこで、社会福祉関係等の公職を多くもっていた大高源照さんは、それでは自分が幼稚園をつくらうとなつた訳です。

お寺の境内を檀家や近くの子どもたちに開放していた大高さんです。幼稚園づくりは自然の流れでした。しかし、経営は順調ではありません。

入園を希望する子どもたちが多いとは言え、どこの幼稚園でもいいとはならないのです。

そこで葵幼稚園は、園児を自宅

学校法人帯広葵学園

理事長 上野敏郎

まで車で送迎する努力をコツコツ続けます。

昭和40年から葵幼稚園となつてもこの努力は続きます。園舎がお寺の敷地内ですから、仏事の影響を受けることもありました。

送迎で園児を外で待たせることもあったのです。送迎には意識して心を込めなければなりませんでした。

昭和43年3月、宗教法人帯広源照学園は学校法人になります。実は、宗教法人のままではまずい理由がありました。それは、帯広市は大空町に新しい幼稚園を計画していました。

それに応募するためには、学校法人格が必要だったので。これが、昭和39年発足の「葵幼稚園」を昭和40年に「葵幼稚園」に改組した理由です。

そして昭和44年に、学校法人資格を取った帯広源照学園は「葵幼稚園」と「葵南幼稚園」の二つを経営することになります。

子どもに必要なことはすべて 児童憲章の中にあります



児童憲章の前文(要約)  
われらは、日本は世界の精神文化の中心地であるとして、児童の権利を保障し、その健全な成長を期すこととする。

We base on the trustee's accordance with the spirit of the Constitution of Japan in order to establish the right concept on the children and realize every child's happiness.



児童憲章の総則(要約)  
児童は、人として尊重され、国家からその一員として尊重されるべきである。児童は、みづからその成長の途程を決定し、その責任を負ふべきである。

Children should be valued as the human beings. Children should be esteemed as the members of our society. Children should be brought up in a suitable environment.



学校法人 帯広葵学園

〒080-0022  
青広市西12条南17丁目2 新波ビル2F  
TEL 0155-23-7894 / FAX 0155-67-6778  
URL <http://www.obih-rooni.co.jp>



幼稚園型認定こども園  
帯広の森幼稚園



幼稚園型認定こども園  
つづじが丘幼稚園



保育所型認定こども園  
緑陽台保育園



小規模保育所  
012 青い鳥保育園



完全園児保育・ベビーダンス教室  
あおいキッズハウス



児童発達支援・放課後等デイサービス・保育園等訪問支援  
あおいとり